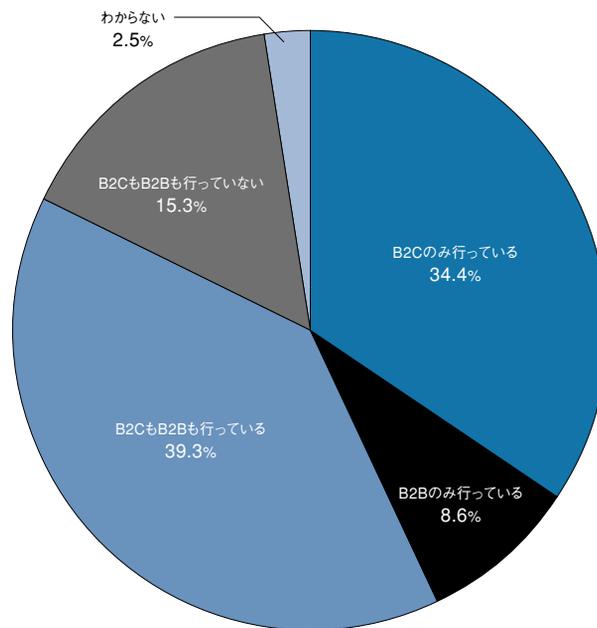




B2Bを実施している企業が半数近く

資料4-6-9 ECへの取り組み状況 N=163

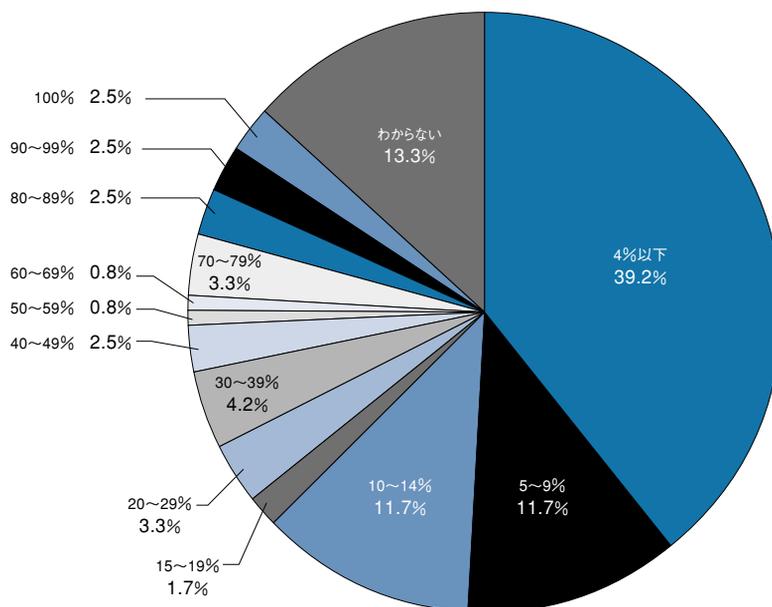


©impress,2004

資料4-6-1でECを行っているという回答した企業に対して、その内容を聞いている。「B2Bのみ」と「B2CもB2Bも行っている」を合計すると、B2Bを実施している企業が半数近くに達しているというのは興味深い。「B2BもB2Cも行っていない」けれどECをやっているという回答者がいるのは、問い合わせ受付だけということか。

ECが総売上の5割以上を占める企業が1割以上存在

資料4-6-10 全体の売上に占めるB2Cの比率 N=120



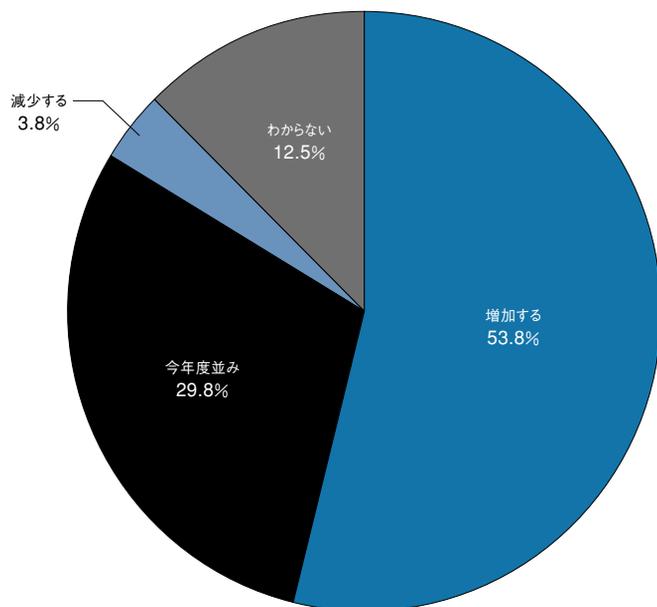
©impress,2004

資料4-6-9でB2Cを行っているという回答した企業に、全売上に対するB2Cの比率を聞いた。B2C売上が総売上の10%を占めれば、電子商取引はその企業内で市民権を獲得できるはずだ。ECを実施している企業の4割近くがそのレベルに達しているというのは非常に期待がもてる。ECが総売上の5割以上を占めている企業も1割以上存在している。

EC

EC売上は今年度を凌駕すると回答した企業が過半数

資料4-6-11 来年度のECの売上増減見込み N=104

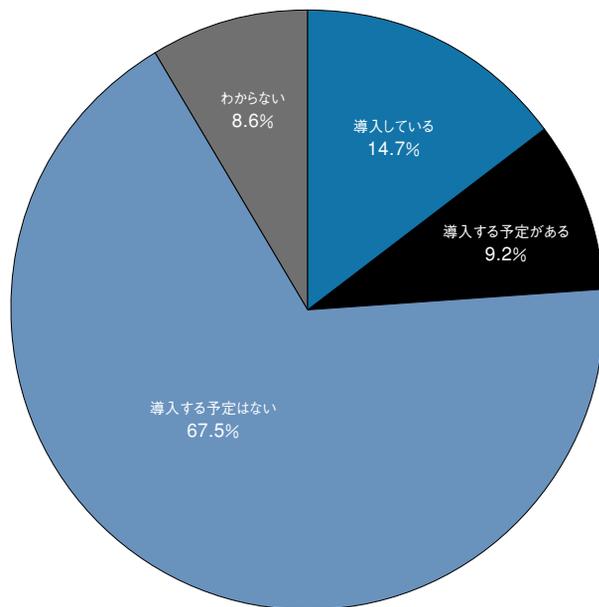


©impress,2004

力強い回答が返ってきた。来年度のEC売上は今年度を凌駕すると回答した企業が過半数に達している。全般的に言って、景気の回復基調は本物なのだろうかと皆が確認している時点で、このようなはっきりした回答が返ってきているということが、ECの有望さを改めて印象づけている。

アフィリエイト導入の予定がない企業が7割

資料4-6-12 アフィリエイトの導入状況 N=163



©impress,2004

アフィリエイトプログラムの導入による販売促進については、予定なしの回答が7割近くに達した。一般企業のECにおいては、今のところアフィリエイトプログラムはそれほど有効と認識されていないようだ。アフィリエイトプログラムは、ウェブに特化した情報サイトやECサイトでこそ意味を持つものと認知されているのだろう。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp